

シラバス(地歴科)【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	地理B	学年	3	使用教材	教科書	新詳地理B／新詳高等地図 最新版	帝国書院
		必修修の別 (必・選必・コース選)	選必		副教材	新詳地理資料COMPLETE 地理要点ノート 地理10分間テスト	帝国書院 啓隆社 山川出版社
学科	全学科	単位数	2				
系統科目	世界史A(1年必・2単位)、日本史B・地理B(2・3年選必・2単位)、世界史発展・日本史発展・地理発展(3年選・2単位)						

【学習目標】

- 1 現代社会の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。
- 2 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

【学習方法のポイント】

- 1 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。
- 2 現代の世界を地域(市町村規模、国家規模、州・大陸規模)を通して学ぶ。
- 3 現代世界の諸課題(国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題)を理解する。
- 4 地理という学習(教科)が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え、自分の意見を述べる力を身につける。
- 5 地図を理解し、地理情報を有効に活用できる資質を養う。

【学習評価と観点】

- 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとめりとともに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	地理的事象について関心をもっているか。また、課題意識をもち、意欲的に追求しているか。
②思考・判断	地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察しているか。国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断しているか。
③表現・処理	諸資料を吟味し、確実なものを選択し活用することを通して地理的事象を追求する方法を身につけているか。
④知識・理解	日本を含む世界の生活と文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身につけているか。
評価方法／観点	
	① ② ③ ④ 備考
学習状況観察	◎ — — — 自己評価の実施
ノート・ワークシート	◎ ○ ○ ○ 訂正ノートを含む
課題レポート等	○ ◎ ○ — 長期休業中の課題を含む
単元テスト等	— ○ ◎ ◎ 設末テスト、章末テストを実施
定期考査	— ○ ◎ ◎ 中間・期末(1, 2学期)、学年末(3学期)

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

- 学習の記録簿を活用することで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲(目安)】※追加・変更することもある。

			教科書(単元)	備考
学期	1学期	中間	第Ⅱ部3章1節世界の人口～第Ⅱ部3章4節都市・住居問題	
		期末	第Ⅱ部4章1節世界の衣食住～第Ⅲ部2章1節地域の考察方法	
	2学期	中間	第Ⅲ部2章3節南アジア～第Ⅲ部2章5節西アジアと中央アジア	
		期末	第Ⅲ部2章6節北アフリカとサハラ以南のアフリカ～同章11節オセアニア	
	3学期	学年末		

【学習サポート】

- 地理の授業は自分の視野を広げることを目的とし、様々な事柄に興味をもち、新聞やニュースなどに積極的に親しみましょう。
- 授業は演習ノートとプリントを併用して行います。各項目での考え方・仕組みをしっかりと理解しましょう。
- 地図帳で調べた個所をチェックする蛍光ペンはオレンジ色・ピンク色がおすすめです。